

校長室通信

平成24年度 第25号

下野市立南河内第二中学校

発行者 横島 清

H25. 2. 1

1 生徒朝会～保健委員会・給食委員会からのお知らせ～

今回の生徒朝会は、保健委員会・給食委員会から、目の健康についてパワーポイントによる説明がありました。以前に、全生徒からとった「目の健康」に関するアンケート調査のまとめを発表しました。ゲーム時間と視力低下の関係について明らかにしようという取り組みでしたが、今回の調査結果からははっきりした因果関係は認められませんでした。それは、視力が低下した時期は、個人差があることや、ゲームを始めた時期など不明確な点が多く、あくまで今現在の調査だったからと思われます。目の健康のためにできることについて、生活と栄養の観点で発表したものを掲載しますので実践していきましょう。

《生活の中でできること》

- ① ゲーム・テレビ・パソコンは時間を決める。
- ② パソコンなどは、1時間ごとに休憩を入れる。
(10分の休憩、遠くを見る、歩く、ストレッチなど)
- ③ 読書や学習などは、明るい場所で行う。
- ④ ものを見るときは、目を近づけすぎない。
- ⑤ 栄養のバランスのとれた食事をする。
- ⑥ 前髪は目にかからないようにする。
- ⑦ 小型ゲーム機は、動いている乗り物ではない。
- ⑧ 汚れた手でこすらない

《目によい食べ物と栄養素》

- ① ビタミンA＝緑黄色野菜
・にんじん、カボチャ、ほうれん草など
- ② ビタミンB1
・豚肉、貝類、大豆、落花生など
- ③ ビタミンB2
・レバー、鶏卵、鰯、納豆、牛乳など
- ④ ビタミンC
・柑橘類、イチゴ、アセロラ、野菜など
- ⑤ アントシアニン
・ブルーベリー、プルーンなど

保健委員会の皆さん、給食委員会の皆さんご苦労様でした。

2 下野市内4中学校生徒会交流会を開催

市内の子ども達が、主体的に協議・交流し、自身の手で子供達のためになる運動を展開することになり、今回、初の試みとして、下野市内4中学校生徒会交流会を実施しました。この活動は、今後定期的に行われ、「下野子ども力発動プロジェクト事業」と名付けられました。今回は、国分寺中学校で開催され、各校代表4名が、4つの班に分かれて「各学校生徒会の紹介」「よい校風とはどういったものなのか?」「いじめをしない・させない・見逃さない」の3つの視点から、リーダーとして何ができるか話し合いました。本校の生徒を代表して、新生徒会長に参加した感想を書いてもらいました。

新生徒会長

今回の交流会に参加して、他校の取り組みを知ることができ、また、本校の良さを再認識することができました。本校の良さという点で、例えばアルミ缶、ペットボトル、ベルマーク回収では本校ほど回収できている学校はありませんでした。ですから、このような本校の良い点をもっと伸ばしていけるよう努力していきたいと思います。また、交流会では、いじめに関する話し合いもしました。その中で印象に残った意見があります。それは、“チクリは正義”というものです。正しいことをしている人が正義であるという雰囲気をつくることによって、本校の校風もさらによくなるのではないかと思います。

3 下野市教育のつどい教育委員会表彰

1月26日(土)に、下野市国分寺公民館において「第7回下野市教育のつどい」がありました。その場で、教育委員会顕彰規定に従い、平成24年度の文化芸術・各種スポーツ大会等で顕著な成績を収めた児童生徒表彰がありました。本校では、英語スピーチコンテスト、陸上、水泳、サッカー、新体操の各分野で37名が受賞しました。

表彰式に続いて能楽師山中一馬氏(シテ方金春流、重要無形文化財総合指定保持者)による記念講演「能楽に親しむ」がありました。能面の話から入り、修業時代の苦労など生徒達にも分かりやすい説明でした。先生は海外に出たとき、自国の伝統文化について話せることが、国際人として大切な要素である。生徒達にはもっと、能楽を始め日本の伝統文化に親しんで欲しいと話しておられました。



4 教職員による学校評価～その1（自ら考え学ぶ生徒）

教職員による自己評価を行いましたのでお知らせします。本校の教育目標である◎自ら考え学ぶ生徒◎思いやりのある生徒◎体力と気力を鍛える生徒の3つについて、今回から3回にわたり掲載します。学校では、1月の会議に於いて全教職員で確認し、反省改善点を次年度の計画に盛り込んでいきます。

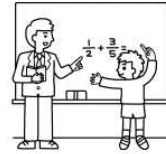
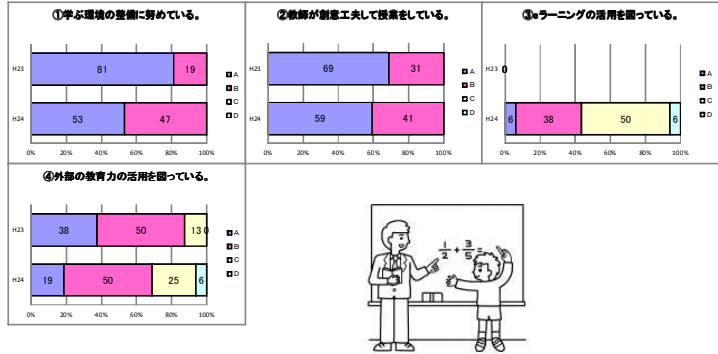
A	よくできている	B	できている
C	あまりできていない	D	できていない

※グラフは、上段が平成23年度
下段が平成24年度

◎自ら考え学ぶ生徒

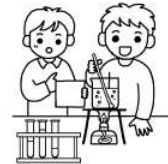
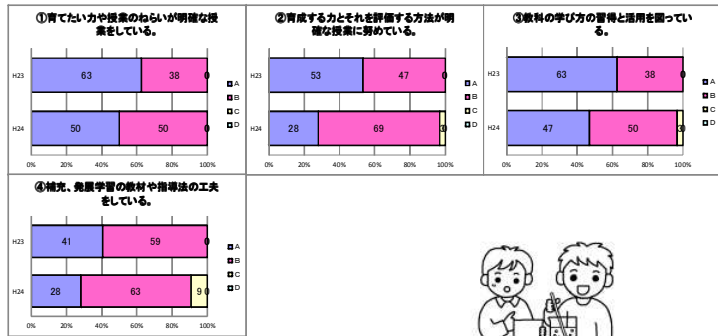
1 自ら意欲的に学ぶ生徒

		A	B	C	D
①学ぶ環境の整備に努めている。	H23	81	19	0	0
	H24	53	47	0	0
②教師が創意工夫して授業をしている。	H23	69	31	0	0
	H24	59	41	0	0
③eラーニングの活用を図っている。	H23	0	0	0	0
	H24	6	38	50	6
④外部の教育力の活用を図っている。	H23	38	50	13	0
	H24	19	50	25	6



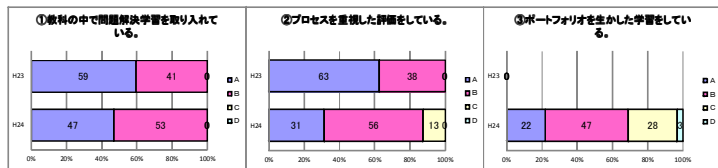
2 基礎基本と学び方を身につけた生徒

		A	B	C	D
①育てたい力や授業のねらいが明確な授業をしている。	H23	63	38	0	0
	H24	50	50	0	0
②育成する力とそれを評価する方法が明確な授業に努めている。	H23	53	47	0	0
	H24	28	69	3	0
③教科の学び方の習得と活用を図っている。	H23	63	38	0	0
	H24	47	50	3	0
④補充、発展学習の教材や指導法の工夫をしている。	H23	41	59	0	0
	H24	28	63	9	0



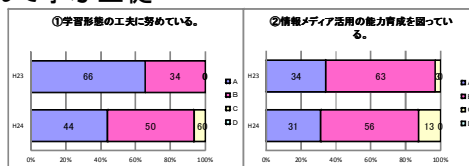
3 問題解決能力を身につけた生徒

		A	B	C	D
①教科の中で問題解決学習を取り入れている。	H23	59	41	0	0
	H24	47	53	0	0
②プロセスを重視した評価をしている。	H23	63	38	0	0
	H24	31	56	13	0
③ポートフォリオを生かした学習をしている。	H23	0	0	0	0
	H24	22	47	28	3



4 多様な学習形態や集団との関わりの中で進んで学ぶ生徒

		A	B	C	D
①学習形態の工夫に努めている。	H23	66	34	0	0
	H24	44	50	6	0
②情報メディア活用能力育成を図っている。	H23	34	63	3	0
	H24	31	56	13	0



5 自分の学習を振り返り、修正できる自己評価能力を身につけた生徒

		A	B	C	D
①メタ認知能力育成を目指す自己評価をさせている。	H23	34	59	6	0
	H24	13	55	29	3
②自己評価を継続的に行わせている。	H23	38	56	6	0
	H24	26	65	10	0

